

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	メイガス	Lv.1:		レベル	33
サポートクラス	セージ	Lv.1:	ニンジャ	性別	女
称号クラス				年齢	18
種族	ヒューリン			境遇	夢
出自(効果)	魔術研究者			目標	修行

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	12	12	11	47	42	42	12
ボーナス	4	4	3	15	14	14	4
クラス修正	0	0	0	4	3	0	1
他修正		1		1			
能力値	4	5	3	20	17	14	5

HP	204
MP	425
フェイト	22

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	御伽の剣			10				-4	
左手									
頭部	アミュレットハット				-1	4			-3
胴部	パニッシュローブ				-1	6	-5		
補助	護りの指輪				1	2	1		
装身具	怪しい調合書								
能力値			5	0	3	0	14	20	9
スキル									
その他									
総計(右)			5	10					
総計(左)			5	0	2	12	10	16	6
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	17			17	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	17			17	+ 2 d
エネミー識別	20	6		26	+ 4 d
アイテム鑑定	20			20	+ 2 d
魔術判定	20	9	5	34	+ 5 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	5			5	+ d

所持品	
雪兎	

現在重量: 0  
最大重量: 24  
所持金: -61500  
預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1								
マジシャンズマイト	5	-	パッシヴ	-	自身	自動成功		
効果: 魔法攻撃のダメージに+[SLd]する。								
ウォーターマスター	5	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 水属性のダメージに+(SL×4)								
フレイムロード	5	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 炎属性のダメージに+(SL×4)								
コンセントレイション	1	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 魔術判定に+1 d								
エフィシエント	5	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: ダイスで効果を求める分類魔術に+(SL×2)								
ハイウィズダム	3	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 知力の達成値に+(SL×2)								
マイスター: 魔術	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 魔術判定に+1 d								
マジックフォージ	3	3	DR直前	-	自身	自動成功	1回	
効果: ダメージに+(SL×2) D								
リゼントメント	1	-	魔法攻撃時	-	自身	自動成功	1回	
効果: ダメージに+(CL×10)								
~~~~CL10~~~~	★							
効果:								
アプリアイクション	5	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: ダメージに+(CL×4)								
コンデンス	5	14	メジャー	-	自身	魔術判定		
効果: ダメージに+「SL×5」・シーン持続。クリティカルコスト0								
ブーストフォース	3	-	マジックフォージ	-	自身	自動成功		
効果: 「SL×20」点以下の任意のMPを消費する。消費したMP1点につき+2ダメージ。								
アグレッシブマジック	5	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: ダメージに+(SL×3)								

初期スキル  
ウォーター1 & フレイム1  
ホーミングヒット&インプローション

父の仮説である「炎と水の融合爆発魔法」を完成させるため、魔術師として修行の旅に出る。基本的に一日一時間は最低でも魔術の練習を行っている。尚、基本的に早朝に練習を行っているが、気が向いた時は時間に関係なく練習、研究を行う。更には寝る時間を惜しんで行うことも。

得意な属性は水。炎も扱っているが、水属性程は上手く扱えない。小さい頃から水魔法は使っていた。その頃は炎が怖く、いいイメージを持っていなかった(破壊的なイメージ)こともあり、ほぼ扱えていなかった。本人は気付いていないが、今も無意識な恐れが残っているため、それが苦意識に繋がっている。

旅の道中で水炎爆発魔法の理論を完成させる。しかし、それには余りにもティナ自身の能力が足りず、発動することが出来ない。暫く苦悩させられることになる。

あまり感情は表に出さないタイプ。口調はよく区切り、ぼそぼそとした喋り方。詠唱時は比較的元気に声を出す。旅路では修行やら研究やらに没頭し続けていた訳ではなく、たまに絵を描いたり料理を楽しんだり、割と自由気ままにしていたが、同時に寂しさを感じることもあり、心の中では誰かに甘えたい、という想いがあったりする。

水炎魔法を扱える能力のない自らを鍛えるべくそのまま旅を続け、その道中で「ノルンの町」の話聞く。人が集まっているその町でなら上手く扱えるようになるキッカケがあるかもしれない……と考え、ノルンの町へと向かう。

寝るのが遅いせいか、寝ている時間がだんだん長くなっている。  
錬金術にも興味を持ち出したようだ。



